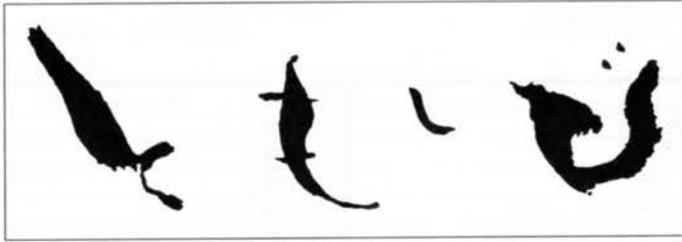


大学婦人協会東京支部

2000.7  
第28号



- ・新支部長挨拶 (1P)
- ・記念講演「狂言の世界とシェークスピア」和泉流宗家 (3P)
- ・講演「新しいミレニアムを迎えて」マリコ・テラサキ・ミラー氏 (6P)

### 新支部長挨拶

「みんなが参加する支部に」

東京支部長 坂上栄美子



皆さまはどんな動機で大学婦人協会に入られましたか。私は会の内容も知らないまま、先輩の勧めで十年前に入りました。こないいかげんな会員でありながら、この度支部長を務めることになりました。ちょっと緊張しております。

支部長になって、改めて会員名簿を繰ってみました。六月現在の支部会員は五五九名ですが、お顔を存じ上げない方、最近あまりお目にかからない方、活動によく参加されている方よりも、そんな方のほうが気になり始めました。参加されないには色々な訳がありでしょうが、律儀に会費をお納めくださりながら参加されないのは、会がつまらないか

らではないかと心配です。私たち支部委員は、微力ながらも、皆さまのご意見やご要望で会の行事を企画運営するのが務めと思っております。

「私の研究を発表してみたい」とか、「こんな所を見学するとよい」とか、「こんな話が聞きたい」とか、様々な提案をお寄せください。会員一人ひとりの総意で会を運営していきたいと思っております。

今年活動のテーマとしまして、「心のエンパワーメント」をあげました。法律や制度がいくら整備されても、それを選択するのは個人の意識です。案外女性を縛っているのは、女性自身の意識ではないでしょうか。まず、自分の「心」をしつかり「エンパワー」しようというわけです。そのテーマに沿って、活動してまいりたいと思います。

また、来年春の全国総会は、東京支部で開催することになっております。頼りない支部長と不慣れな委員たちですが、精いっぱい頑張ろうと準備を進めているところです。役員とか委員とかの枠を越えて、一緒に開催運営にあたってくださる方は、どうぞお申し出ください。皆さまのご協力をお願いいたします。

### 東京支部総会報告

前書記 縄田真紀子

二〇〇〇年東京支部総会は、四月二十二日(土)、虎ノ門の国立教育会館で開催された。

支部会員総数五三二名中、出席者数七十八名、有効委任状二二六通で総会は成立。

高井支部長の挨拶に続き、一九九九年度事業報告、決算報告及び会計監査報告が行われた。次に二〇〇〇年度事業計画案、予算案が審議され、二〇〇〇年度予算に全国通常総会費を組み込むこと、詳細は七月発行の「ともしび」に掲載することが承認された。続いて新支部長、新役員が承認され、坂上新支部長の挨拶と新委員の紹介が行われた。

次に山本JAUW会長が、世界的連帯の中にある団体として、社団法人として、会員相互の協力のもと活動に活動してほしいと挨拶された。

次いで平野国際委員長より、I F U W八十周年記念チャレンジの説明があり、滞りなく総会は終了した。

記念講演は、狂言和泉流宗家二十世和泉元彌氏、和泉淳子氏、三宅藤九郎氏三姉弟の清々しい講演を拝聴した。

## 1999年度大学婦人協会東京支部決算報告書

## 2000年度予算

1999/4/1～2000/3/31

2000/4/1～2001/3/31

## 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	備考	予算額	備考
I 会費収入	1,500,000	1,344,000	-156,000		1,500,000	
II 基本財産利息収入	30,000	22,401	-7,599		25,000	
III 運用財産利息収入	1,000	669	-331		1,000	
IV 寄付収入	350,000	281,200	-68,800	バザー、寄付	300,000	バザー、寄付
V 通常総会本部補助金	-	-	-		300,000	
VI 通常総会参加費	-	-	-		660,000	3000円×220口
VII 雑収入	18,000	18,000	0	入会還付金、賛助会員還付金	20,600	入会還付金、賛助会員還付金
当期収入合計	1,899,000	1,666,270	-232,730		2,806,600	
前期繰越金	1,022,178	1,022,178	0		890,685	
収入合計	2,921,178	2,688,448	-232,730		3,697,285	

## 支出の部

科目	予算額	決算額	差額	備考	予算額	備考
I 管理費	1,040,000	934,629	-105,371		1,040,000	
(1) 備品費	20,000	0	-20,000		20,000	
(2) 消耗品費	100,000	77,834	-22,166	コピー代、封筒、他	120,000	コピー代、封筒、他
(3) 印刷製本費	50,000	40,425	-9,575	支部のお知らせ、他	30,000	支部のお知らせ、他
(4) 通信費	320,000	301,970	-18,030	支部お知らせ、ともしび、本部会報	320,000	支部お知らせ、ともしび、本部会報
(5) 交通費	70,000	57,500	-12,500		70,000	
(6) 事務所費	120,000	120,000	0	本部へ分担金	120,000	本部へ分担金
(7) 事務手当	360,000	336,900	-23,100	事務員給料一部負担、他	360,000	事務員給料一部負担、他
II 運営費	150,000	92,666	-57,334		150,000	
(1) 総会費	90,000	31,782	-58,218	会場費、マイク代、菓子代	90,000	会場費、マイク代、菓子代
(2) 委員会費	60,000	60,884	884		60,000	
III 事業費	700,000	570,468	-129,532		1,660,000	
(1) 一般事業費	600,000	470,468	-129,532	ともしび(2回)、講演会、他	600,000	ともしび(2回)、講演会、他
(2) 通常総会関係	-	-	-		960,000	
(3) 国内奨学金	100,000	100,000	0	国内奨学金寄付	100,000	国内奨学金寄付
IV 雑費	20,000	0	-20,000		20,000	
V 予備費	40,000	0	-40,000		20,000	
VI 基本金積立	200,000	200,000	0	貸付信託	200,000	貸付信託
当期支出合計	2,150,000	1,797,763	-352,237		3,090,000	
次期繰越金	771,178	890,685	119,507		607,285	
支出合計	2,921,178	2,688,448	-232,730		3,697,285	

2000年3月31日現在

基本金財政状況:貸付信託

¥4,160,000……三井信託銀行新宿西口支店

運用財産状況:繰越金 ¥890,685

普通預金 ¥834,774……三井信託銀行新宿西口支店

現金 ¥55,911

会計 木村 和子 山崎 邦子

厳正に監査いたしました結果、正確に記載されており間違いのないことを証明いたします

2000/4/5現在

2000年4月13日

会計監査 松沢美仁子 比留間淑乃

## 大学婦人協会東京支部

## 二〇〇〇年度役員・委員名簿

支部長 坂上栄美子(大女)

副支部長 松本 佳子(茶)

書記 山崎 邦子(東女)

委員 岩田 玲子(武蔵音)

木村 和子(実)

小池 朋子(津)

小坂 順子(日女)

阿部 裕子(聖)

遠藤 理枝(奈女)

奥山ふみ子(日女)

片柳 洋子(大女)

加藤百合子(実)

河井 尚子(東女)

菊地 薫(聖)

紅林みのり(大女)

佐々木澄子(東女)

豊田トモ子(聖)

富士仁三代(奈女)

福田 文子(早)

福田 満代(奈女)

松浦 照代(実)

三浦 久子(大女)

三浦由紀子(茶)

三森 紀子(同女)

吉原 雅子(日女)

比留間淑乃(日女)

会計監査 高井 敬子(聖)

(五十音順) 印新役員、委員

記念講演(2000・4・22)

## 「狂言の世界とシエークスピア」

講師 和泉 元彌氏  
和泉 淳子氏  
三宅藤九郎氏



講演は、和泉流宗家の嫡男で二十代目宗家の和泉元彌氏によって始められた。氏

は狂言全般と和泉流の説明をしてくださった。

要約すると、狂言は日本の伝統芸能の中の唯一の喜劇で、現在、和泉流と大蔵流があり、五六二年前に京都で誕生した和泉流は、今は東京を中心に日本全国および世界各地で活躍しているとのことである。狂言の題材は六〇〇年前の出来事であり登場人物や装束は昔のものであるが、内容は現在に通じ、用語は室町時代の侍の日常語で「何々でござる」という表現を用いているが、抑揚をつけ間をおいているので、よく耳を傾ければ観客は七〇パーセントは理解

でき、残り三〇パーセントは演者の動きで理解できるといふ。

その他演者の表情、擬音および能楽堂、能舞台の説明の後、会場の演壇を横にずらした空間に松を配した仮設舞台で、狂言が演じられた。

演目は、盆などに石を積み上げて景色を作ったものや盆栽を意味する「盆山」で、盗人「シテ」を和泉宗家の次女で、人間国宝の祖父九世三宅藤九郎の継承者の十世三宅藤九郎(和泉祥子)氏、盆山の持主「アド」を、長女の女性狂言師和泉淳子氏が演じられた。立派な盆栽を一つ盗もうと庭に入った盗人が盆山の陰に身を隠すが、盆山の持主にみつけられからかわれて、犬や猿の啼声でごまかそうとしたが失敗し、果ては鯛の真似をして跳びはねて逃げて行くという筋で、演技の途中観客から幾度か笑いが洩れ、演技が終わると拍手が沸いた。

続いて和泉淳子氏は、女性狂言師として舞台に立てる現在に生まれ合わせ、しかも良き師匠(父)に恵まれた幸運を語り、女性狂言師協会の代表として、この道での女性の進出に努力しておられると話された。

また、三宅藤九郎氏は、十九世が、「日本の狂言を世界の狂言に」のモ



ットーのもとに、シエークスピアの喜劇やハムレットなどを狂言に組み、和泉流宗家は既にそれらの公演を、十二カ国二十数都市で行い、好評を得ている実績について話された。

最後に和泉元彌氏が舞ってくださいました「あやめ酒」に、観客は心を洗われる思いがした。

貴重な知識を与え、磨き上げられた演技を鑑賞させていただいた和泉流宗家の、国内および海外での益々のご発展をお祈りする。

(川田 ひろ)

講演(2000・6・14)

## 「国際協力の現場から」

JICA総裁 藤田 公郎氏



政府の要人であることなど感じさせない雰囲気での講演は始まった。体験にもとづいた興味深い

話で、あつという間の一時間四十分だった。

援助と日本、援助の具体例、援助をする理由、援助の意義の四項目に分けて説明。戦勝国アメリカが戦後の日本にどれ程大きな援助をしたか。ガリオア資金とかララ物資とか聞き覚えのある方も多いと思う。新幹線や高速道路への世界銀行からの多額な融資。それらの支援のもとに再建された日本は今、主に東南アジアへ援助の手をさしのべている。

三十五年前に設立された青年海外協力隊(20歳~39歳)は一六〇職種一三〇〇人の規模となり、51%が女性というのも、女性のエンパワーメントとして見逃せない。シニアボランティア(40歳~69歳)も四〇〇名。国際協力事業への関心もあらためられた講演であった。(柴崎 富子)

支部各係からのメッセージ

○会員・ホームページ係

東京支部会員、賛助会員のデータを管理し、支部からのお知らせや「ともしび」を皆様にもれなくお届けできるようにするのが第一の仕事です。

昨年度、支部のホームページを開設しました。日頃の活動を知らせるもうひとつの窓として up-to-date に情報を発信してゆきます。アドレスは [http: www3.ky.3web.ne.jp/~jauw/](http://www3.ky.3web.ne.jp/~jauw/) です。東京支部をアクセスしてみてください。

皆様からの変更や訂正を速やかに行うため、本部会員部や事務の鈴木さんと連携して作業しています。住所変更など支部にお知らせください。(チーフ 福田・松浦)

○講座・見学係

年間行事として、年四、五回の講演会と見学会を催しています。会をより身近に感じていただくために、勉強会と親睦の場として充実したものを企画したいと考えています。

前年度はシスター加藤、秋山慶氏、渋谷謙三氏、マリコ・テラサキ・ミラー氏を迎えての講演会と、東京都の清掃施設見学会を開催しました。

今年度は、すでに六月十四日に、JICAの藤田公郎総裁を招いて、「国際協力の現場から」と題して有意義なお話を伺いました。七月四日には相馬雪香氏の講演会を予定しています。

今後の催し物についてもその都度お知らせが届きます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

また、素敵な講師をご存知の方、ぜひ係までお知らせください。(チーフ 河井・紅林)

○バザー係

会員の皆様には「新春のつどい」や支部総会の折にご協力いただき、ありがとうございます。協力いただいた収益は「国内奨学金」として、学生の方にもますます勉強にはげんでいただけるように資金協力をしております。仕入れの方も皆様からの情報をいただいで動いております。ぜひ有力な情報をお知らせください。(チーフ 奥山)

○サークル係

会員相互の親睦を図るために東京支部では現在六つのサークルが活動しています。「東京漫歩くらぶ」「英語講座」「楽しい俳句会」「源氏物語

を読む会I」「源氏物語を読む会II」(希望者が多く今年より新設)そして「フラワーデザイン」など、どのサークルも多数参加し、和気あいあいと和やかな雰囲気の中で活動しています。今後これというご希望のサークルがありましたら、お申し出ください。(チーフ 加藤)

「ともしび」係  
年二回(三月、七月)、「ともしび」を発行します。支部の活動を詳しくお知らせするための機関紙です。係のこと、サークルのこと、講演会や見学会のこと、さまざまな活動の様子をお伝えします。

会員なのに、なかなか入って行きにくい、見えない垣根のようなものをとり払えたらと願っています。

また「ともしび」は皆様でつくり上げていくものだと思います。ご意見、ご感想、取り組んでほしいテーマなど、係までお寄せください。(チーフ 三浦)

ホームページアドレス  
[http: www3.ky.3web.ne.jp/~jauw/](http://www3.ky.3web.ne.jp/~jauw/)  
東京支部をアクセスください。

事業報告・予定

4・22 東京支部総会  
於国立教育会館

記念講演 「狂言の世界とシエークスピア」  
講師 和泉 元彌氏  
和泉 淳子氏  
三宅藤九郎氏

6・14 講演会「国際協力の現場から」  
藤田 公郎氏

7・1 「ともしび」第28号発行

7・4 講演会「激動の20世紀・その反省と教訓」  
相馬 雪香氏

7・5 講演会「我が国の福祉」  
寛仁親王殿下(財務主催)

9月 講演会  
10・14 JAUW全国セミナー  
於国立婦人教育会館

11月 見学会  
11月 パスツアー(財務主催)  
11月 新春のつどい(本部主催)  
国内奨学金贈呈式(本部と共催)

2月 講演会

3・1 「ともしび」第29号発行  
7月以降の事業は、具体的に決まり次第、ご案内いたします。



## サークル紹介

## ①東京漫歩くらぶ

平成四年から続いている、都内や近郊を散策する会。年に三、四回、半日くらいの行程と食事を楽しみます。希望者には案内しています。どうぞお気軽にご連絡ください。

六月十五日、白山神社の「あじさい祭」と小石川植物園を見学しました。次回は未定。

## ②英語講座

日時・第一第三金曜日

午前十時～十二時

会場・大久保地域センター三階

講師・松本節也氏(元法政大学教授)

よき指導者を得て、英語に親しんでいます。引き続き「ロンドン史」を講読中。理解を深めるため、時代を反映した名作(日本語訳)なども参考にして楽しんでいます。メンバー募集中です。①②ともに、問い合わせ先・峯川正子

(☎〇三―三六八四―八三〇七)

## ③楽しい俳句会

'96年9月から始まった「楽しい俳句会」。現在句友は十五名で、月一回事務所まで句会を開いています。

札幌支部との交換句会も、すでに四回を数えます。「雪しまき」「気化嵐」という北海道という風土ならではの季節に、新しい世界を経験いたしました。

時に笑いの渦を巻き起こす楽しいのしい句とも出会いつつ、句作りと鑑賞力の向上に励んでおります。多少余裕がありますので、ご関心のある方は見学にいらしてください。

日時・毎月第三水曜日

午後一時三十分～三時三十分

会場・J A U W事務所会議室

講師・柴崎富子 俳人協会会員、

「春燈」同人、句集「山日和」

問い合わせ先・海老原典子

(☎/F〇三―三三三三―五〇五六)

## ④源氏物語を読む会(Ⅰ)

絵巻物の中では澄まし顔の姫君たちですが、平成の美女三十名が坂上先生の名講義に耳を傾けるや、絵の中から千年の時を超えて現われ、源氏を巡り情念の火花を散らしてくれ

ます。

'96年9月から読み始めて、現在、「松風の巻」。源氏が須磨、明石より帰り、物語もいよいよ佳境に入っていきます。はらはらどきどき、第三第四の水曜日が待ち遠しいです。

いまは満席状態、教室は熱気にあふれています。(田 律子)

## ⑤源氏物語を読む会(Ⅱ)

折りしも、紫式部と源氏絵巻が描かれた新二千円札が発行され、「源氏物語」が脚光を浴びる年、「源氏物語を読む会Ⅱ」のスタートに花を添えてくれている様です。

坂上先生の名調子のご講義で、雅びで幽玄の世界に浸り、そして楽しく最後まで皆で読み終えたいものです。

まだ多少、人数の余裕があります。

ご希望の方はお申し込みください。

日時・第二、三、四火曜日

午前十時半～十二時半

問い合わせ先・中山律子

(☎〇三―三三三三―六四六二八)

## (Ⅰ)(Ⅱ)とも

会場・J A U W事務所会議室

講師・坂上栄美子

著書「源氏物語

ひとりごと」



## ⑥フラワーデザイン

二年間同好会として楽しんできたフラワーデザインの会がサークルの仲間入りをします。あわただしく過ぎて行く日々の中で、季節の花と語り合うひとはなんて幸せなのでしょう。美しいものにふれて楽しい仲間とその喜びを分け合い、豊かな気持ちを持ち続けられたらと思います。先生は抜群のセンスでご指導ください。

日時・毎月第三火曜日

午後一時半～三時半

会場・J A U W事務所会議室

講師・河井尚子(マミーフラワーデザインスクール本校講師及び

グリーンアドバイザー)

問い合わせ先・西尾順子

(☎〇四―二二九九―四七四一)



講演 (2000・2・23)

## 「新しいミレニアムを迎えて」

マリコ・テラサキ・ミラー氏



新しいミレニアムを迎えて最初の東京支部主催の講演会は、真赤なスーツ姿のマリコさんの明るい元氣な第一声「皆様、こんにちわ」で始まった。会場は超満員、男性も何人か見えている。マリコさんに続いて、名通訳横田佳世子さんの美しい日本語。ああ、これで、きょうはもう大丈夫！

今回は、母上グエンさんから三代前に遡って、いかにアメリカの女性たちが参政権を得るために戦ったかを、ユーモラスに時々ジェスチャーをまじえながら話し始められた。

ご両親の意志を継ぎ、二つの祖国に橋を架けようと努力しておられるマリコさんの生き方に惹かれた私が初めて彼女の住むキャスパーを訪れたのは、一九八四年一雨の空港。私

たちがお互いを理解しあうのに時間は要らなかった。二人は夜のカーパークで声高らかに日本の童謡を歌った。その後続いた手紙の数々。マリコさんからの「日米の深刻な貿易摩擦について、何か私がお役に立つならいつでも日本に帰ります」との訴えに、朝日新聞「声」の欄に投書し、日本各地での講演会を実現したのは一九八八年。全くの専業主婦であつた私にとって、これは初めての社会参加となつた。同年九月と十一月、二回にわたる鹿児島・熊本・山口・徳島・京都・東京などでの講演旅行は、マリコさんと私をより深く結びつけた。マリコさんが大変尊敬しておられる母上グエンさんにお目にかかつたのはそれから二年後。同行した夫は「髭を剃りなさい」と注意され、思わず苦笑した。明治生まれの亡き母を思い出したようだ。

マリコさんとの出会いについてひとり物思いに耽っている私に、マリコさんの力強い声が聞こえてくる。「政治をお上に任せるのは、間違いです。世界の女性が結びつけば、社会は変えられます。そうだ！ 私はマリコさんの講演会企画後、J A U W に入会し、I F U W 国際会議も経験した。マリコさんの話は、わが国

の女性運動家の大先輩である相馬雪香氏とのインタヴュー、環境問題、人口問題、教育問題と続く。講演終了後の「あなたはどのようにしてそんなに樂觀的なのですか？」という質問に「絶望するという贅沢は、私には許されていません」との答え。初めての出会いから十六年。その間、お互いの家庭でも様々なことが起こつた。特にマリコさんには、人には語れない苦しみがあつた。それを知つた時の私の心痛。でも彼女は見事に立ち直つた。初めての講演会に比べて、回を経るごとにその内容は魅力的になり、特に今回は私たちに強い印象を与える語り口であつた。マリコさんは立派に成長された。横田佳世子さんの適切な通訳のお蔭で、マリコさんの気持ちが正確に私たちに伝わつたのは言うまでもない。聴衆の皆様も、少し暑すぎた室内にも拘らず最後まで熱心に聞いてくださった。帰途、マリコさんが言われた「きょうの聞き手が一番質が高かつた。お蔭で私も、最後まで大変気持ち良く話せた」との言葉が、この日の私への最高のご褒美となつた。

マリコ・テラサキ・ミラー氏は、現在、日本政府名誉総領事として活躍されている。(有本 玲子)

## 守田科学研究奨励賞贈呈式

に参加して

五月二十日、大学婦人協会に入会して間もない私は、勧められて守田科学研究奨励賞贈呈式に出席、初めは立派な方々の中で堅くなつておりました。

式が始まるまえに、守田様と学友だつた方から、「白い実験着がよく似合つて、ひたむきなイメージの方でした」とお聞きしました。長年、高校で化学の教鞭をとられ、お亡くなりになつてから、弟様を通して基金のご寄付があり、今回が二度目の奨励賞となつています。

式中、受賞者の庭山聡美博士が、化学式を图示して、分り易く講演され、化学に疎い私も、サリドマイドが人体にプラスの働きをする面の新しい研究についての知識を深めました。浜崎浩子博士は、科学者として進むきっかけと今日までの研究生活を語られ、その間経験したこと、後進に役立てようとする気持ちが、暖かく伝わって来ました。

格調高い中にも、和やかな雰囲気漂つた会で、守田様の遺志が生かされた贈呈式に参加できたことを、うれしく思っています。

(吉原 雅子)

## 第43回通常総会報告

前副支部長 待場田鶴子

第43回通常総会は、四月一日午後より奈良市の奈良ホテルで始まりました。評議員会と支部長会議の後、夕刻六時より同ホテル大和の間に懇親会が催されました。

村上札幌支部長のユーモラスな乾杯の音頭のと、中国の涂さん、可憐な沈さんによる中国琵琶と楊琴の演奏がありました。心に響くその美しい音色は今でも忘れられません。

二日目は、会場を奈良新公会堂に移しました。出席者は、二五二名(東京支部より67名)、参加支部は二十四。山本会長の開会の辞の後、逝去会員に黙禱。つづいて山本会長を議長として選出、総務、各委員会、各支部の報告に対して、審議・質問が行



われましました。今年のは組織の改変が以下の様にありまし

委員会の構成変更、五委員会の名称変更(国際奨学委員会、国際委員会、国内NGO委員会、女性の地位委員会、広報委員会)などです。その夜の薬師寺花会式には百数十名が参加。奈良支部の二日間にわたるあたたかいおもてなしに心から感謝しております。

次期44回総会は東京で開かれます。東京支部の皆様のご支援をお願いいたします。

## 奈良支部主催

## 〈世界遺産コース〉

四月三日午前九時前出発。参加者三十七名。午前は東大寺を参観。森本会員のご令息の案内で、見学は一層意義深くなった。金剛力士像を収めた南大門をくぐり、大仏殿前に進

りされた菩薩の典雅な造形に魅了された。殿内では特に許され、大仏膝元まで登壇。台座の蓮弁に刻まれた毛彫図は、「華嚴経」の仏光遍照の世界を表現している。東大寺は天平の昔に建立されてより、苦難の星霜を重ねながら、文化財や宗教儀礼を守ってきた。それは歴史遺産としてみならず、今日の私たちに、依然として豊かな啓示を与える精神遺産で



もあると、慈愛溢れる毘盧遮那仏の尊顔を拝しつつ考えた。

東大寺を後に、春日山原始林をへて、奈良公園内は散策、平城宮址へ。復元成った朱雀門に懸かる風鐸の響きに、ふと往時の都大路の繁盛すら偲ばれた。全見学を終え、午後三時近鉄奈良駅着。お世話くださった奈良支部の皆様にご感謝しつつ解散した。

若葉光る奈良の中宮寺。優しい姿の本堂は池の中に建ててある。ふくよかな御門跡様のご説明で拝観する。飛鳥彫刻の最高峰とされる美しい曲線の半跏思惟の国宝如意輪観音菩薩に思わず手を合わせる。国宝天寿国曼荼羅繡帳は日本最古の刺繍で、千年を経て色褪せず保たれていて驚く。

## 〈三門跡寺院参拝コース〉

若葉光る奈良の中宮寺。優しい姿の本堂は池の中に建ててある。ふくよかな御門跡様のご説明で拝観する。飛鳥彫刻の最高峰とされる美しい曲線の半跏思惟の国宝如意輪観音菩薩に思わず手を合わせる。国宝天寿国曼荼羅繡帳は日本最古の刺繍で、千年を経て色褪せず保たれていて驚く。

散策、平城宮址へ。復元成った朱雀門に懸かる風鐸の響きに、ふと往時の都大路の繁盛すら偲ばれた。全見学を終え、午後三時近鉄奈良駅着。お世話くださった奈良支部の皆様にご感謝しつつ解散した。

田照寺は堂々たる本瓦葺の尼寺

で、山村御流の活花が床の間を飾る。かつては修学院離宮内にあったという。

バスは日本人の心の故郷奈良の静かな山里を走り、景色を楽ませ三輪の里に着く。昼食は麵ゆう館山本で温かいそうめん。柿の葉ずしもいただいたがその美味しさは今だに忘れられない。いろいろとお土産も頂戴した。

法華寺は南大門、鐘楼。本堂ではちようど雛会式で可愛いお雛様も飾られていたが満員で入ることができず、本尊十一面観音は拝めなかった。「から風呂」も外からお偲びした。御門跡様が画かれた美しい散華をこの旅の記念にと求めた。奈良支部の皆様にご感謝いたします。



中宮寺御門跡をかこんで

(芥川 妙子)

はじめまして

「今年度からの新委員です。どうぞよろしく」

阿部裕子 (聖)

今まで、社会福祉委員会で本当にたくさんの方を学ばせて頂きました。新たに、東京支部委員になり緊張しておりますが、何かのお役に立てればと願っています。

遠藤理枝 (奈女)

先輩にお誘い頂いたものの、今春より急きよ社会福祉の学校に通うことになり、皆様にご迷惑をおかけするばかりです。そのうち少しでもお役に立てればと思っております。

片柳洋子 (大女)

あらゆる方面にアンテナを張り、キャッチしたことに對して素早く頭を切り換え、これから来るであろう長い人生の余暇を少しでもマルチで意義のある楽しいものにしてゆきたいと考えています。どうぞよろしく。

菊池 薫 (聖)

東京支部委員会の活動に参加させて頂いた機を得まして、微力ながら、一灯の一助となることがかない

ますよう励みたく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

佐々木澄子 (東女)

入会と同時に委員を引き受けさせて頂いたことになり、不安で一杯ですが、皆様との出会いで多くの事を吸収できるものと期待しております。よろしくお願いいたします。

豊田トモ子 (聖)

何も解らないまま、委員をお引き受けすることになってしまいました。一抹の不安はございますが、一生懸命お手伝いさせて頂くつもりでおります。どうぞよろしく。

福士仁三代 (奈女)

大学の先輩からのお誘いで、はじめてこの会に参加させて頂いたことになりました。また一つ新たな出会いを得られたことに感謝しております。よろしくお願いいたします。

福田文字 (早)

社会は情報化、グローバル化といふ言葉と共にめまぐるしく変化していますが、私たちの住む街、東京の変わらぬ姿や文化を支部活動を通して学んでいきたいと思っています。

三浦久子 (大女)

先輩のお誘いで、四月から入会いたしました。本当に何もわからない「若葉マーク」の委員です。新しいお仲間との出会いを楽しみにしています。どうぞよろしく。

三森紀子 (同女)

立派な方々のお仲間に入れていただき不安ですが感謝しています。足手まといにならぬよう努力いたします。入会と同時に委員になりました。ご指導の程よろしくお願いいたします。

吉原雅子 (日女)

皆様との活動を通して、様々な経験を重ね、勉強して、参加することが楽しくなる様になります。よろしくお願いいたします。

### ▼お願い▲

◆今年度の会費、未納の方はお早目にお振り込みください。また、住所変更やその他の異動の際は、事務所にご連絡ください。(支部会計)

◆使用済みの、切手、プリペイドカード類をお送りください。年末にまとめて、中野盲人自立センターに届けています。

### 編集後記

常緑樹の落葉が峠を越した。若緑は日一日と濃さをまし、球根類の土中からの引上げもすんだ。花菖蒲や紫陽花のたよりはしつとりと落着き感を与えてくれて、農業の方には申し訳ないが一息つけるときでもある。だが外は選挙カーの喧噪。すでに南九州では大雨の被害のニュース。感傷にひたる場合ではないか。

(M)

梅雨といえば田植えの風景を思い浮かべる。だが電磁波と電子音の中で暮す娘にはピンとこない様子。無洗米を使う親の子なら仕方がないといわれても……。

(A)

○今号は新支部の活動状況の報告に紙面を多くとり、声のひろげは次の29号で充実して載せたいと思います。多発する少年事件への思い、介護問題、その他日常のこと、支部活動への要望、などなど。たくさんさんの「思い」をお寄せください。

原稿送付先・JAUW事務所内  
東京支部委員会 ともしび係

○原稿のお願いにご協力くださいました皆様と先輩会員のあたたかいご助言に心からお礼申し上げます。  
(編集係一同)

